

平成19, 20年度

職業自立を推進するための実践研究事業研究報告書



山口県教育委員会

ま え が き

学校教育法等の改正により、平成19年度から特別支援教育制度が開始されました。

本県では、平成20年度から『山口県特別支援教育ビジョン実行計画<第1期>(平成18年10月)』に基づき、原則5障害を対象とする総合支援学校への移行をはじめ、特別支援教育センターの設置や高等部の学科再編など、本格的に特別支援教育をスタートさせました。

平成18・19年度に実施した総合支援学校への移行に向けた県事業の体制整備モデル事業では、特に進路指導・就労支援について、県立田布施総合支援学校(旧田布施養護学校)、県立山口総合支援学校(旧山口養護学校)で「進路・職業教育モデル研究」に取り組み、職業教育の充実に向けた授業改善や教育課程の研究を進めてきたところです。

本研究事業では、これまでの取組をさらに発展させるとともに、障害のある子どもたちの自立・社会参加に向けた進路指導、職業教育の一層の充実を目指して、県立山口総合支援学校、県立宇部総合支援学校を研究指定校として、実践的な研究に取り組んできました。

県立山口総合支援学校では、山口・防府地域の特別支援学校の協力を得て、特別支援学校間での連携を図り、企業を中心とする就労支援のためのネットワークの構築に取り組みました。数回にわたるネットワーク会議の中で、企業ニーズの把握、企業向けのセミナーを開催するなど、企業との連携の強化が一層図られました。

また、県立宇部総合支援学校では、地域に立地する県内唯一の特例子会社との連携を図り、地域の企業から就労サポーターとして、作業学習等の授業への参画を得て、授業改善に取り組みました。さらに、就労定着の基盤となる生活支援にも着目をし、幅広い研究を進めました。

これらの取組は、特別支援学校における進路指導、職業教育の実践に参考となるものであり、広域連携協議会においても、関係機関から高い評価をいただきました。

県教育委員会では、今回の実践研究の成果を、県内すべての特別支援学校へ普及するよう努めるとともに、障害のある子どもたちの進路指導、職業教育の一層の充実を目指し、自立と社会参加に向けた取組を進めてまいります。

終わりになりましたが、本研究事業を本県に委託していただきました文部科学省、研究指定校となった、県立山口総合支援学校、県立宇部総合支援学校、協力校として研究に携わった各特別支援学校、また、就労サポーターとして御協力をいただいた多くの企業をはじめ、各関係機関の皆様方に感謝申し上げますとともに、今後も引き続き、障害のある子どもたちの自立と社会参加のために御支援をいただきますようお願いいたします。

平成21年3月

山口県教育委員会

も く じ

ま え が き

地 域 山口・防府・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

研究指定校 山口県立山口総合支援学校

地 域 宇部・下関・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4 5

研究指定校 山口県立宇部総合支援学校